

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■発展プリント

7 世界から見た日本①

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊧ (1) アルプス・ヒマラヤ造山帯</p> <p>㊨ (2) ウ</p> <p>㊧ (3) 長さが短く、急流である。 (12字)</p>	<p>㊧ (1) アルプス・ヒマラヤ造山帯は、ユーラシア大陸南部を東西に走る造山帯で、ヒマラヤ山脈には世界最高峰のエベレスト山〔チョモランマ〕をはじめ、8000m級の山々が連なっている。また、ヨーロッパを南北に分けるアルプス山脈にはモンブラン、マッターホルンなどがあり、多くの観光客が訪れる。</p> <p>(2) ア 日本の国土の中で山地は61.0%、丘陵地は11.8%をしめている。また、台地は11.0%、低地は13.8%となっている。</p> <p>イ フォッサマグナは中央地溝帯ともよばれ、西縁は糸魚川静岡構造線とよばれ、はっきりしているが、東縁は明確ではない。</p> <p>ウ 親潮は千島海流ともよばれる寒流である。</p> <p>エ 冷帯〔亜寒帯〕に属する北海道の冬は厳しく、亜熱帯に属する南西諸島は一年を通して気温が高く、雨も多い。</p> <p>(3) 日本列島は細長くその中央に山地があるため、川は短く急流となる。世界最長のナイル川は日本列島の2倍以上の長さとなっている。</p>
<p>㊧ (1) イ</p> <p>㊦ (2) 稚魚や稚貝をある程度育ててから放流し、成長してからとる漁業。(30字、下線部の語句を使う)</p> <p>㊨ (3) ア、エ</p>	<p>㊧ (1) 米は高温多雨の気候に適した穀物で、世界の人口の約半分が主食としている。南アジア・東南アジア・東アジアがおもな生産地。小麦は温帯や冷帯の半乾燥地域で主に栽培されている穀物で、ヨーロッパを中心に食べられている。とうもろこしは温暖多雨の気候帯に適した穀物で、メキシコ、南アメリカ、中央アフリカなどで主食としている。</p> <p>(2) 養殖漁業が、卵をふ化させてから成魚となるまで人工的に育てるのに対して、栽培漁業は一定の大きさになると海などに放流し、自然の中で生育させる。日本では「サケ」の栽培漁業が古くから行われていた。</p> <p>(3) 第一次産業は人が自然に働きかけて営む産業で、農業・漁業・林業・水産業など。第二次産業は第一次産業で生み出されたものを加工する産業。第三次産業は第一次・第二次産業以外のすべての産業をさす。なお、イ、カは第一次産業で、ウ、オは第二次産業である。</p>